【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和4年12月15日(2022.12.15)

【国際公開番号】WO2021/172285
【出願番号】特願2022-503613(P2022-503613)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　1/00(2006.01)
Ａ６１Ｂ　1/01(2006.01)
Ｇ０２Ｂ 23/24(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　1/00　６５０
Ａ６１Ｂ　1/01　５１３
Ｇ０２Ｂ 23/24　　Ａ

【手続補正書】
【提出日】令和4年10月28日(2022.10.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
バルーン本体と、前記バルーン本体の一端に設けられる第１筒部と、前記第１筒部の前記バルーン本体を挟んで反対側の他端に設けられる第２筒部と、を有するバルーンを、内視鏡の挿入部又は前記内視鏡の挿入部の体腔内への挿入を補助する挿入補助具に取り付けるためのバルーン取付治具であって、
中空筒状で平坦状に折りたたみ可能に形成され、一端に第１開口部を有し他端に第２開口部を有する本体部と、
前記第２開口部から前記第１開口部が設けられる側とは反対側に向かって延在して設けられ、互いに対向する一対のガイド片と、を有し、
前記本体部及び前記一対のガイド片の内表面に、前記挿入部又は前記挿入補助具の外周面が摺動可能な滑り面を有し、
前記一対のガイド片は、前記ガイド片の第２開口部側の外表面に設けられた高摩擦部と、前記ガイド片の先端側の外表面に設けられ、前記高摩擦部より摩擦係数が小さい低摩擦部と、を有し、
前記高摩擦部は、前記バルーンの前記第２筒部が保持される部分であり、前記低摩擦部は、前記バルーンの前記第１筒部が保持される部分である、
バルーン取付治具。
【請求項２】
前記滑り面は、少なくとも前記挿入部又は前記挿入補助具が前記本体部及び前記一対のガイド片と接触する領域である、
請求項１に記載のバルーン取付治具。
【請求項３】
前記滑り面は、前記本体部及び前記一対のガイド片の内表面の全域である、
請求項２に記載のバルーン取付治具。
【請求項４】
前記滑り面は、前記本体部及び前記一対のガイド片の外表面より、摩擦係数が小さい、
請求項１から３のいずれか１項に記載のバルーン取付治具。

【請求項５】
前記滑り面は、シボ状凹凸面である、
請求項１から４のいずれか１項に記載のバルーン取付治具。
【請求項６】
前記滑り面は、プラスチック素材からなるコーティング層を有する、
請求項１から４のいずれか１項に記載のバルーン取付治具。
【請求項７】
前記高摩擦部は、表面の滑らかなシート、又は、粘着性を有するコーティング層を有する、
請求項１から６のいずれか１項に記載のバルーン取付治具。
【請求項８】
前記一対のガイド片は、前記ガイド片の先端側に設けられた幅狭部と、前記ガイド片の第２開口部側に設けられ前記幅狭部より幅の広い幅広部と、を有し、
前記一対のガイド片のそれぞれの幅広部の幅を合計した長さが、前記挿入部又は前記挿入補助具の外周の長さ以下である、
請求項１から７のいずれか１項に記載のバルーン取付治具。
【請求項９】
バルーン本体と、前記バルーン本体の一端に設けられる第１筒部と、前記第１筒部の前記バルーン本体を挟んで反対側の他端に設けられる第２筒部と、を有するバルーンを、内視鏡の挿入部又は前記内視鏡の挿入部の体腔内への挿入を補助する挿入補助具に取り付けるためのバルーン取付治具であって、
中空筒状で平坦状に折りたたみ可能に形成され、一端に第１開口部を有し他端に第２開口部を有する本体部と、
前記第２開口部から前記第１開口部が設けられる側とは反対側に向かって延在して設けられ、互いに対向する一対のガイド片と、
前記一対のガイド片に設けられ、前記ガイド片の先端側の幅狭部と、前記第２開口部側で前記幅狭部より幅の広い幅広部と、を有し、
前記一対のガイド片のそれぞれの幅広部の幅を合計した長さが、前記挿入部又は前記挿入補助具の外周の長さ以下であり、
前記幅広部は外表面に設けられた高摩擦部を有し、前記幅狭部は外表面に設けられ、前記高摩擦部より摩擦係数が小さい低摩擦部と、を有し、
前記高摩擦部は、前記バルーンの前記第２筒部が保持される部分であり、前記低摩擦部は、前記バルーンの前記第１筒部が保持される部分である、
バルーン取付治具。
【請求項１０】
前記本体部及び前記一対のガイド片の材料が、樹脂又は紙である、
請求項１から９のいずれか１項に記載のバルーン取付治具。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５８】
（一対のガイド片の形状）
次に、一対のガイド片１０８ａ、１０８ｂの形状について説明する。図３から図６に示すように、一対のガイド片１０８ａ、１０８ｂは、先端側に設けられた幅狭部１２６と、第２開口部１０６側に設けられた幅広部１２８と、を有する。幅広部１２８は、幅狭部１２６より幅が広く形成されている。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００７７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００７７】
鍔部３１２は、容器開口部３０８から、バルーン取付治具１００の挿入方向Ｂに垂直な方向に、広がって形成されている。鍔部３１２は、外周部３１２ａと内周部３１２ｂとにより構成されており、容器開口部３０８側から内周部３１２ｂ、外周部３１２ａの順で設けられている。内周部３１２ｂは、バルーン取付治具１００の挿入方向Ｂにおいて、外周部３１２ａより中溝部３２０側に形成されている。すなわち、外周部３１２ａと内周部３１２ｂは段差状に形成されており、外周部３１２ａが、中溝部３２０側と反対方向に突出して形成されている。